



育子園のうさぎ  
みみちゃんの  
みみよりHOTニュース

- ① 園ホームページに、「保護者の一日保育参加」の感想を掲載しています
- ② 育子園のインターネット回線を強化しました。
- ③ 平成24年度「杉並区内保育園入園のご案内」が届きました。

- ① 「保護者の一日保育参加」を体験した保護者からは、ご家庭では見られない子どもの様子が発見できたり、園生活の様子が解ったりと、新たな発見が沢山ありました等の感想が寄せられています。体験されていない方は是非ご参加ください。
- ② 現在、育子園では光インターネット回線を利用して園内の有線・無線LANを構築しています。万が一震災等で光回線網が寸断された場合の接続手段として、今月から無線インターネット回線を追加導入しました。今後とも保護者の皆様と「繋がりがやすい」環境を整備していきます。
- ③ 書類は事務室にあります、来年4月入園希望の方はお立ち寄りください。

★「見守る保育」は、新宿せいが保育園 藤森園長主宰のギビングツリーが提案している保育です★  
～ シリーズ「見守る保育」～

慢性的な都市部の待機児童を少しでも解消しようとする特例措置が、来年度から実施される方向で進んでいます。厚生労働省が今年4月の待機児童が100人以上かつ、平均地価が3大都市圏の平均以上の自治体を対象に、子ども一人当たりの保育面積を緩和しようという3年限定の措置を提案していますが、保育現場からは反対の声が上がっています。

国が定めている認可保育園の子ども一人当たりの保育面積は、たとえば1歳児は一人当たり3.3㎡ですが、年度途中で2.5㎡に減らせるという考えです。今回の方針について保育業界では、いまでさえ東京都内の認可保育園は待機児童解消のために定員数の弾力化でほとんどの園で定員より多く子どもを受け入れ、新設の園では園庭がない施設まであります。0歳児は寝返りや、ほふく、そしてつかまり立ちが十分できるような保育スペースが必要不可欠なのに、面積を減らそうとしているのです。この措置を育子園に当てはめてみると、現在1歳児クラス定員:30人(国が定めた面積以上を確保しています)の保育室に、約60人も入園できるのですから満員電車なみの状態になります。

さらには、子どもに対する保育士の人数をどのように措置するのか明確ではありませんから、子どもの人数を大幅に増やし保育士の人数は現状のままになると、狭い部屋に詰め込まれ保育士は減るといった劣悪な保育環境になりかねません。

戦後、欧米は日本の住居を、「ウサギ小屋」と酷評し、やっとな日本家屋にもLDKが取り入れられたにも関わらず、幼い子どもが起きている時間の大部分を過ごす保育園が今さら逆行するのは説得力がありません。現在、育子園では保育先進諸外国を参考に、3歳児以上は「食寝分離」をさらに向上させて、「遊・食・寝分離」を行っていますので、安易に今回のような特別措置が定められると、保育環境レベル低下をまねくことになりかねません。

今年度、杉並区の待機児童は70人ですからこの緩和措置には該当しませんが、来年以降の対応が危惧されます。さらには認可保育園の保育面積が引き下げられると、認証保育所や認可外保育施設も雪崩式に現行より狭くなる可能性が高まります。待機児童対策は喫緊の命題ですから、適切な予算を投入して保育所施設整備を推進することで保育先進国の仲間入りができるのです。

今回のような子育てに必要な費用をかけずに狭い保育室に子どもを詰め込もうとする制度に対しては、注意深く見守りながら杉並区私立園長会としても提言していきます。(2011.8.31 育子園ホームページ 園長ブログより)

## クラスだよ



### はじめてづくし



お外遊びが大好きで“ミッキー体操”が終わると窓の近くに集合、「早く開けてよ!!」とアピールします★芝生の感触にも慣れ、のびのび元気に遊ぶようになり、最近では、自分から築山まで行くほどになりました★いろいろなことが初めてづくしのつぼみ組、これからもお外で元気いっぱい遊んでいきたいと思ひます。

「つぼみ組」

### 運動飛躍の秋 到来!

暑い日はプール!!★そんな毎日を過ごしていた幼児組★台風もあり、自然のパワーに皆ビックリ★色々な意味で自然に目を向けた夏の日でした★また、運動会に向け、年長児は鼓笛に遊戯、リレー、年中、年少児も、気持ちは運動会!!涼しくなってきたので、皆、外での活動が楽しいみたいです。

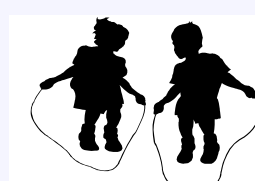
「うみ・にじ・そらグループ」



### こどものつ・ぶ・や・き

子「すずしいな～」  
保「そうだね!! 気持ちいいね～」  
子「今日の天気っておかしいな～」  
(季節の変わり目に気づいた瞬間でしょうか!?)

散歩の帰り道、大きなフォークリフトの働く様子を見してきました。その日のおやつをパクパクとたいらげたK君が一言、「フォークリフト、おいしいね～♡」  
(確かに「コーンフレーク」に似てるけど…!?)



親に感謝の気持ちが  
あれば、子どもにも思  
いやりのあるやさしい気  
持が育ちます。

「小さな手を合わせて「いただきます」と言う幼い子どもを見ると、うれしくなります。かわいらしさを乗り越えて、尊い姿に見えてきさえます。おとなのしぐさをまねているのでしょう。無条件で気持ちがいよいものです。  
「ありがとう」を素直に言える子は、そうざらにはいません。親がそばにいて「ほら、ありがとうは？」と言うから言いますが、促す親がいなければ、自分から言うことはありません。  
親がいなくても、何かをもらったり、してもらったりしたら、自然に「ありがとう」が出るように、常に口を出して言うようにしていきたいですね。

第六条 感謝の言葉を口にする  
《子育てしぐさ十ヶ条》より  
日本人の心と体にしみ込んで生かされてきた、素晴らしい智恵の数々……  
いま話題の『子どもが育つ江戸しぐさ』より  
ご紹介させていただきます。

## 秋は楽しみが盛り沢山

今年の夏は、去年よりも水に慣れ、たくさんプール遊びを楽しみました★今でも、ロッカーから水着を引っ張り出して着替えようとする姿も…★そんな、大好きなプールに終わりを告げ、秋はお散歩に運動会と、楽しいことが盛り沢山!!★いっぱい身体を動かして遊びたいと思ひます。



「きく・たんぽぽ組」

## 「ちゃんと置けたよ」

先日、子どもにお友だちの、おやつのエプロンを届けてくれるようお願いしました★お友だちはまだ着席していないので、「お席においてね」と伝えました★イスにはお友だちの顔写真が貼ってあるだけです★すると、きちんと間違いなくエプロンを次々と置いてくれました★いつもと違う所にイスが置いてあり(あれ?)と、一瞬戸惑いもありましたが、ちゃんとイスを探して置きました★お友だちの名前は言えなくても顔と名前は一致しているのです★日々驚きの連続です。



「ふじ組」